

小・中学校の 児童・生徒数を推計

住民基本台帳に基づき、平成24年度から30年度まで

■各学校別児童生徒数推計表 (平成24年5月1日現在)

	学年	年 度						
		24	25	26	27	28	29	30
浦 幌 小	1	27	24	38	22	33	24	27
	2	31	27	24	38	22	33	24
	3	40	31	27	24	38	22	33
	4	23	40	31	27	24	38	22
	5	37	23	40	31	27	24	38
	6	27	37	23	40	31	27	24
	計	185	182	183	182	175	168	168
学級数	6	6	7	7	7	7	7	
厚 内 小	1	0	1	2	2	1	5	4
	2	0	0	1	2	2	1	5
	3	3	0	0	1	2	2	1
	4	1	3	0	0	1	2	2
	5	2	1	3	0	0	1	2
	6	1	2	1	3	0	0	1
	計	7	7	7	8	6	11	15
学級数	2	2	2	2	2	3	4	
上 浦 幌 中 央 小	1	4	4	3	5	6	2	2
	2	4	4	4	3	5	6	2
	3	3	4	4	4	3	5	6
	4	6	3	4	4	4	3	5
	5	4	6	3	4	4	4	3
	6	5	4	6	3	4	4	4
	計	26	25	24	23	26	24	22
学級数	3	3	3	3	4	3	3	
浦 幌 中	1	42	28	39	24	43	31	27
	2	40	42	28	39	24	43	31
	3	30	40	42	28	39	24	43
	計	112	110	109	91	106	98	101
	学級数	3	3	3	3	4	4	4
上 浦 幌 中	1	10	5	4	6	3	4	4
	2	6	10	5	4	6	3	4
	3	9	6	10	5	4	6	3
	計	25	21	19	15	13	13	11
	学級数	3	3	3	3	3	2	2



太陽への手紙事業で町長と懇談する小学生。
(浦幌小学校6年生)

◎浦幌小学校

児童数は180人台から160人台まで緩やかに減少し、平成24・25年度は普通学級6学級編成、平成26年度以降は7学級編成となります。

◎厚内小学校

児童数は平成28年度まで7人前後で推移しますが、平成29年度に11人普通学級3学級編成、平成30年度には15人・

4学級編成となります。

◎上浦幌中央小学校

児童数は20人台で推移し、普通学級は4学級編成となる平成28年度を除き、3学級編成を維持します。

◎浦幌中学校

生徒数は110人台から90人台で推移し、平成27年度まで普通学級3学級編成を維持し、その後は4学級編成とな

ります。

◎上浦幌中学校

生徒数は20人台から10人台まで緩やかに減少し、平成28年度まで普通学級3学級編成を維持し、その後は2学級編成となります。

■各学校別児童生徒数推計表について■

★推計の前提として、平成24年5月1日現在、各学校の特別支援学級に在籍する児童生徒は、引き続き特別支援学級に在籍するものとしますが、平成25年度以降に各小学校に入学する児童は、全て普通学級に在籍するものとします。

★また、学級編制基準により平成24年度現在、小学1年生および2年生は35人1学級編制となっておりますが、平成25年度以降も段階的に35人1学級編制が拡充されるものとしています。しかし、今後の国の動向は明らかにされておりませんので、あくまでも浦幌町独自の推計であることをご了承願います。

★各学校に配置される教員などの数は、普通学級数・特別支援学級数・児童生徒数を基に算出されますが、先に述べた前提のもとで学級数および児童生徒数を推計しているため、教員などの数の増減については、流動的な部分があり、予測が困難なため言及しておりません。

浦幌町教育委員会学校教育係 (TEL576-2117)

URAHORO TOWN COUNCIL

行政報告

第2回町議会臨時会（5月15日）より「5月3日から5日にかけての大雨による災害対策本部設置及び被害状況について」を報告します。

行政報告

5月3日から5日にかけての大雨による災害対策本部設置及び被害状況について

発達した低気圧の影響による大雨のため、4日午後7時32分浦幌町に洪水警報が発表されたことを受け、同時刻に災害対策本部を設置いたしました。

3日から5日にかけての総雨量は、桜町で140mm、留真で117mmでありました。

浦幌十勝川の十勝太水位観測所では、4日午後11時に氾濫危険水位の3.0mを超え、午前2時に最大3.2mに達しました。厚内川においても水位が上昇したため、厚内地区の2世帯3名の方が、4日午後8時30分から5日午前5時25分まで厚内公民館

へ自主避難をしております。

体制につきましては、町職員39名、消防署職員19名、消防団員3名、合計59名により、情報収集、被災のおそれのある箇所への対策、被害状況の確認等を実施してまいりました。

5日午前5時53分に洪水警報が解除され、河川の水位も低下したことから、午前6時35分に災害対策本部を解散いたしました。

現在までに判明しているこの大雨による被害は、農業被害は農地の浸冠水179ヶ所、決壊・流失被害が54ヶ所で被害額については、現在調査中であり、排水路につきましては、明渠埋塞、明渠法面崩壊等により16箇所・560万円、土木被害は、道路につきましては、法面崩落、土砂流出等により9路線・17箇所・810万円、河川につきましては、河道埋塞、連節ブロック被災等により6河川・14箇所・1445万円の被害を受けており、今後の調査により増えることも予想されます。

なお、これらに係る応急経費につきましては、6月の第2回町議会定例会に補正予算を提案したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、大雨による災害対策本部設置及び被害状況についての報告いたします。